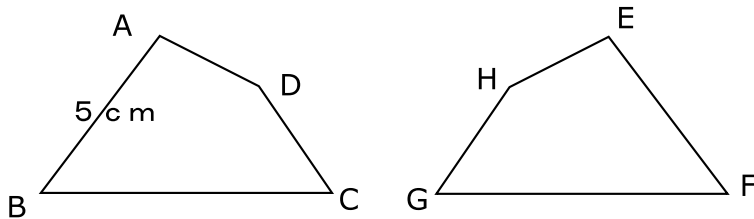


合同な図形

平面上の2つの図形について、一方をずらしたり、裏返すことによって他方に重ね合わせることができるとき、この2つの図形は合同である。

合同な図形では、対応する線分や角は等しい

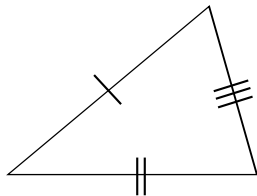
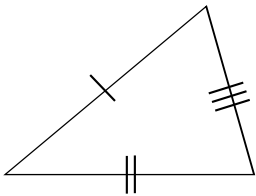
$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるとき、記号 \equiv を使って、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ と表す
(※頂角が対応するように順番に書く※)



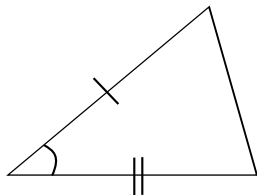
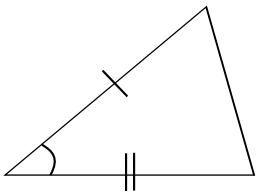
左図の四角形 $ABCD$ と四角形 $EFGH$ が合同なら
四角形 $ABCD \equiv$ 四角形 $EFGH$

その時、 EF の長さは
線分 EF に対応する場所は線分 AB なので
 5 cm

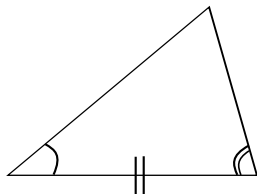
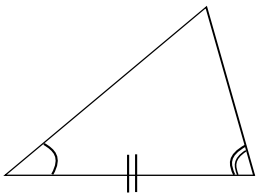
三角形の合同条件



① 3辺がそれぞれ等しい

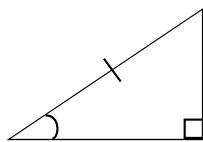
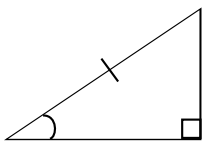


② 2辺とその間の角がそれぞれ等しい

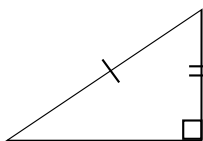
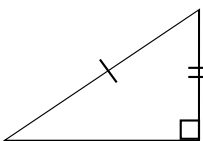


③ 1辺とその両端の角がそれぞれ等しい

三角形の合同条件 直角三角形の時



① 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい



② 斜辺と他の一辺がそれぞれ等しい